

---

 新 刊 紹 介
 

---

ABRAMOV, I. I. (編) : 下等植物分類学の最新の知見 (Novitates Systematicae Plantarum Nonvascularium) 第25巻. 183 pp. ナウカ出版社(レニングラード支部). 1988. (ロシア語)

ソ連邦科学アカデミーコマロフ植物学研究所の, 下等植物一般(藻類, 菌類, 地衣類およびコケ類)に関する最新の知見を集めた論文集の25巻。それぞれの論文タイトルにはラテン語の併記がある。藻類関係の掲載論文12篇は, 以下の通り。

Beljakova, R. N. : 数種の海産ラン藻の形態と生物学。p. 3-9. ソ連新産種とされたラン藻 5種: *Phormidium submembranaceum*, *Yonedaella lithophila*, *Plectonema calothirichoides*, *Microchaete vitensis*, *Kyrtuthrix maculans* に関する形態および分布。

Beljakova, R. N. : ソ連新産種 *Solentia paulocellularis* (Erceg.) Le Campion-Alsumard et Golubic (Cyanophyta)。p. 9-12. 日本海の Furugel'ma 島沿岸で採集された表題種について。

Beljakova, R. N. : ベーリング海北西沿岸のラン藻。p. 12-27. 52種 (ソ連新産 3種を含む) の記述。

Bondarczuk, L. L. & Kuznetsov, L. L. : バレンツ海沿岸表層のケイ藻フロラの季節変動。p. 27-31. 3深度でのフロラの変動を調査した。

Vinogradova, K. L. : ソ連北極海の *Cladophora* Kütz. p. 31-38. ソ連の北極海に見られる 2種 *C. rupestris* と *C. sericea* についての詳しい記述。

Efimova, I. B. : ムルマン (バレンツ海) の藻類フロラ。p. 38-42. Epiphyte と endophyte のうち, 新たに *Entocladia maculans*, *Pylaella nana*, *Mikrosyphar polysiphoniae*, *Stictyosiphon curta* の 4種が記録された。後

の 2種はソ連新産種。

Konstantinova, I. A. : 数種の *Chlorococcum* Menegh. (Chlorococcophyceae) の特異的な細胞内構造。p. 43-44. R. Starr のコレクションより得た表題属の type strain 18種についての電顕による観察。

Makarova, I. V. & Achmetova, N. I. : バルハン湖の新産ケイ藻 IV。p. 45-50. 20種が新産種とされた。

Okolodkov, Yu. B. : チュコト海の parasitic および epiphytic なプランクトン。p. 50-53. 新たに parasites 2種 (*Dissodinium pseudolunula*, *Paulsenella chaetoceratis*), epiphyte 1種 (*Characiopsis* sp.), と未同定 2種 (おそらく parasites) が記録された。

Okolodkov, Yu. B. : 東シベリア海のプランクトンフロラ。p. 53-54. 32種 (Dinophyta 4; Chrysophyta 1; Bacillariophyta 27) が記録された。

Perestenko, L. P. : ベーリング海の紅藻フロラ補遺。p. 54-57. 新たに41種が記録された。また, *Velatocarpus* Perest. のタイプ種 *V. ochotensis* Perest. は *Iridaea pustulosa* P. et R. のシノニムであることが明らかになったので, *Velatocarpus pustulosus* (P. et R.) Perest. comb. nov. が記載された。

Selivanova O. N. : カムチャツカ南東部の海藻フロラ補遺。p. 57-63. 10種のカムチャツカ新産 (ソ連邦新産 2種を含む) の大型藻類が記録された。

日本ではあまり知られていないソ連の藻類学の一端である。ソ連ではおもに, 多数ある国内誌にさまざまな論文がロシア語で掲載される。情報の国際化も望まれるのだが。

(山梨大学教育学部生物学教室 御園生拓)